

薬用作物の共同研究について

1 研究目的

八戸市の地域特性に応じた薬用作物の生産手法を確立し、薬用作物の生産に伴う八戸市の地域経済の活性化に資することを目的とする。

2 共同研究先

株式会社ツムラ・・・平成 27 年度～

株式会社夕張ツムラ・・・令和 3 年度～

3 これまでの経緯

平成 27 年より、八戸市における栽培に適した薬用作物の品目選定と生産手法の確立のため、農業経営振興センターにおいてオタネニンジンをはじめ数品目の試験栽培を開始。現在も栽培試験を継続中。

令和 2 年には、ツムラの子会社である夕張ツムラが東北事業部を設立し、八戸地域にて、センキュウ、シャクヤクの生産普及に向けて、令和 3 年より、農業経営振興センターにて試験栽培を開始。

令和 4 年からは、市内民間事業者による薬用作物（センキュウ）の栽培が開始された。

4 栽培拡大予定品目紹介

生薬名	川芎	芍薬
植物名	センキュウ	シャクヤク
分類	セリ科	ボタン科
用途	婦人薬、冷え性用薬、皮膚疾患用薬など	鎮痛、鎮痙、収れん、緩和、鎮痛薬など
その他	<ul style="list-style-type: none"> 主に北海道や岩手県など、寒冷地にて栽培されているため、八戸市での栽培にも適している。 	<ul style="list-style-type: none"> 主に北海道や長野県など寒冷地で栽培されているため、八戸市での栽培にも適している。 多年生で途中管理作業が少ないため、水田転作畑などで栽培されている。



写真1：シャクヤク栽培の様子（令和3年6月下旬）



写真2：センキュウの様子（令和3年8月下旬）

5 今後の見通し

センキュウ、シャクヤクの栽培希望者を募集し、生産拡大を目指す。